

みんなのひろば



芦屋町硬式テニス教室開催

芦屋テニスクラブは、芦屋町体育協会に加入し、町民の皆さんとの親交を図っています。テニスの技術力向上やテニス人口の拡大とともに、皆さんの健康増進につながるよう硬式テニス教室を開催します。この機会にテニスの楽しさを体験してみませんか。

▽とき 9月10日(日)・午前9時～正午

▽ところ 総合運動公園テニスコート

▽対象 小学生以上

※経験・未経験を問わず歓迎します。

▽内容 【未経験者】ラケットの持ち方など入門編【経験者】基礎練習など



海の事故を防止しよう!

毎年遊泳中に沖へ流され、砂浜に戻れなくなったり、溺れてライフセーバーなどに救助されたりする事故が起きています。事故に遭わないように次の点を必ず守ってください。



- 開設されている海水浴場へ行く
遊泳区域が設定されていて、監視員がいる海水浴場に行きましょう。
- 風の強さ、波の高さに注意する
海に行く前は天気だけでなく、風の強さ、波の高さも確認しましょう。特に大きな浮き輪などは、少しの風波でも沖に流され危険です。最新の気象情報を入手し、天候が悪くなる前に帰りましょう。

- 飲酒後の遊泳は危険
海で飲酒し、遊泳すると事故に遭う可能性が高くなり、死亡事故も起きています。

- 子どもから目を離さない
浅い水辺でも、たくさんのリスクがあります。子どもから目を離した際に重大事故が起きています。子どもから目を離さないことは、大人の責務です。

そのほかの注意事項はウォーターセーフティガイド遊泳編から→



▷問い合わせ 若松海上保安部
航行安全課 (☎761-4200)

芦屋町民チャリティゴルフ大会

▽とき 9月23日(金)・午前8時7分から3コース同時スタート(午前7時30分から受け付け)

▽ところ チサンカン トリークラブ遠賀(遠賀町虫生津)

▽参加資格 町内に住んでいる、または勤務する人

▽定員 140人、35組(先着順)

▽参加費 2000円

▽プレー費 1万1500円(昼食・手土産付き)

▽申し込み 8月30日(日)までに、芦屋町体育協会(☎222-0188)へ

※月曜日は休みです。

▽申し込み・問い合わせ 8月9日(火)～9月2日(金)に、福岡県緑化センター管理事務所(☎(0943)72-1193)または(ファクス(0943)72-1558)へ

▽申し込み・問い合わせ 8月9日(火)～9月2日(金)に、福岡県緑化センター管理事務所(☎(0943)72-1193)または(ファクス(0943)72-1558)へ

▽材料費 ①草花1500円、②多肉植物1000円

※講義は①、②のいずれも受講できませんが、実技はどちらか一方または両方を申し込んでください。

▽申し込み・問い合わせ 8月9日(火)～9月2日(金)に、福岡県緑化センター管理事務所(☎(0943)72-1193)または(ファクス(0943)72-1558)へ



福岡県緑化センター「緑化講習会」受講者募集

草花と多肉植物の寄せ植え講座の参加者を募集します。

▽準備するもの スポーツができる服と運動靴・ラケット

※ラケットを持っていない人には貸し出しします。

▽定員 30人(申し込み先着順)

▽参加費 無料

※参加者の傷害危険補償の保険に加入しています。安心して参加してください。

▽申込期限 8月10日(日)

【大会予定】12月11日(日)に町民参加の冬季親睦テニス大会を開催します。

▽申し込み・問い合わせ 芦屋テニスクラブ 北田 (☎090-3328-1061)



芦屋町図書館
 (☎223-3677)
 開館時間
 午前10時～午後6時



芦屋町図書館
 ホームページ
 ※資料検索や
 予約などが
 できます。

図書館への作品寄贈



造形作家の田代恒雄さん(白浜町)より、80歳の記念個展で展示した作品の1つ「縁起物80」が寄贈されました。田代さんは「漂着物学会」に所属し、この作品も芦屋海岸の漂着物を使って制作しています。図書館1階に飾っていますので、読書と一緒に楽しんでください。

掲載の催しは新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては、変更・中止となる場合があります。

■休館日 1日月、8日月、15日月、22日月、25日(木)、29日月

定例おはなし会

とき	出演・催し
3日(木)	赤ちゃんおはなし会 たち
13日(土)	お話しポケット
14日(日)	にじの会
20日(土)	おはなしトントン
28日(日)	にじの会

※時間はいずれも午前11時から
 ▷ところ おはなしのへや

読書感想文・感想画特集

第68回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書、第66回西日本読書感想画コンクールの指定図書をそれぞれのコーナーに展示しています。小学生向けは1階、中高生向けは2階サンクエダルト YAコーナー。本を読んで感じたことを文や絵で表してみませんか。



まはら三桃さん講演会

北九州市出身の児童文学作家、まはら三桃さんを講師に迎え、作品の舞台裏など普段聞けないエピソードをお話しいたします。
 ▷とき 9月25日(日)・午後2時から
 ▷ところ 中央公民館2階
 ▷定員 50人(事前申し込み先着順)
 ▷申し込み 8月2日(木)から電話または図書館カウンターで受け付け

新着図書



広重ぶるう
 梶よう子 著

注目の一冊

鳴かず飛ばずの貧乏暮らしのなか、舶来の高価な顔料「ベロ藍」の、深く澄み切った色味を目にした広重は、この青でしか描けない画があると一念発起する。日本の美を発見した名所絵で一世をふうび風靡した絵師の、比類なき半生を描く。

【一般書】

子宝船	宮部 みゆき	著
棘の家	中山 七里	著
朽ちゆく庭	伊岡 瞬	著
カレーの時間	寺地 はるな	著

【児童書】

13歳からの著作権	久保田 裕	作
本おじさんのまちかど図書館	ウマ・クリシュナズワミー	作
はりねずみのノート屋さん	ななもり さちこ	作
戦争が町にやってくる	ロマナ・ロマニーシン	作
いい一日ってなあに？	ミーシャ・アーチャー	作

俳句、短歌

●浜木綿俳句会

現世の風纏ひつつ蓮開く

野口加津美

汀線は砂鉄あと濃く薄暑光

花田八代美

青葉闇出でて己の影戻る

吉住 利枝

睡蓮に雲の流離の影を曳く

池田 幸利

●芦屋俳句クラブ

リヤカーの烏賊売りの声母の声

田尾三千枝

菖蒲園行き交う傘と車椅子

縄田 恵子

借景に軒風鈴の音加ふ

仲山クニ子

でで虫に慣ふ行き方余生なほ

桐山 美枝

●水荳短歌会

ばくばくと大口開けて水際まで

麻生 清子

餌ねだり寄る神社池の鯉

体操教室の三年ぶりに開かれて

腕・足上がらず指導員の檄

陽焼けした若き僧侶は駅伝の

選手時代を法話に織り込む

水撒きてうすき花びら散りし

青き芥子坊主上向きゆるる

田中勢津子